

今回は、探究活動を生かした進路実現の報告（その4）です。

◇ 名古屋大学経済学部合格体験記（竹内俊颯さん）です。

私が取り組んだSGH(FRH)活動・成果

- ・ 令和元年度第40回全国高校生ホームプロジェクトコンクール
- ・ 地球子どもサミット ocean's47 岐阜県代表

私はこの度、学校推薦型選抜で名古屋大学経済学部合格することができました。この高校生活を通して私が感じたこと、思ったことを紹介します。

1つ目はSGH(FRH)の活動を大切にすることです。私は推薦入試に関する書類を関高校のSGH(FRH)活動を踏まえて作成しました。私は共通テストで思うようにはいかず、不合格でもおかしくない点数でしたが、合格することができたというのは大学側にこのような活動を大きく評価していただいたためだと思います。

1、2年生の中には、SGH(FRH)の活動が嫌だなど思っている人もいます。もちろんその活動は大学入試に使えるという理由で行うものではないのですが、このように役に立つこともありますし、必ず今後の自分の財産となると思うので、一生懸命探究活動を行って欲しいと思います。



地球子どもサミット会場

2つ目は、人と関わるということの大切さです。私の高校生活での一番の思い出は、たわいもない話をしている時でした。思い出というと文化祭や体育祭などの大きい行事を思い浮かべるかもしれませんが、自分の中では日常生活でしゃべって、笑っている時が幸せだったと感じます。また今振り返ってみると私は3年間周りの「勉強を頑張ろう」という雰囲気恵まれました。特に2、3年時の隙間時間のちょっとした会話は、自分の知識にもなりながら、良い気分転換ともなりました。私はこのような周りの友達がいなければ、名古屋大学合格はもちろん他の国公立大学も受けられるという環境になかったかもしれません。この恵まれた友達関係には本当に感謝していますし、今後も大切にしていきたいと思っています。

また先生方との関わりということも大切です。私が推薦入試を受けると決めたのは、3年生の6月に先生が模試の結果を見て学校推薦型選抜を狙えるということ提言してくださったことでした。そこまでは学校推薦型選抜があるということも知らず、名古屋大学も雲の上の存在だと思っていました。関高校は素晴らしい先生で溢れています。先生方は、日常から相談に乗ってくださったり、質問をわかりやすく答えてくださったり、共通テストが終わり前期の大学の過去問を丁寧に添削してくださったりと、私は本当にお世話になりました。私はこの1年、友達、学校の先生、塾の先生などいろんな人に救われました。受験期には必ず一度は辛い、苦しいと思う時があると思います。その時はなんでも自分で乗り越えようとせ



魚道水田見学 岐阜農林高校にて

ず、時には自分の周りの人に頼ればいいと私は思います。

最後に、確かに受験期は辛いなと思ったこともありましたが、今まで生きてきた中で一番充実した時間でした。この文章が参考になるかはわかりませんが、少しでも何かを感じていただけたら嬉しいです。最後まで読んでくださりありがとうございました。